

コミュニティ壬生野 第36号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2008（平成20）年5月15日発行

壬生野地域まちづくり協議会 平成20年度総会の開催される

平成20年4月26日午後7時30分より壬生野小学校ランチルームをお借りして、壬生野地域まちづくり協議会平成20年度総会が、来賓に山岡市議会議員、北出市議会議員、北村協議会顧問のご出席のもと開催されました。

総会は、協議会の役員・運営委員・まちづくり委員で構成され、草山靖雄議長の進行のもと、19年度事業報告、決算報告、20年度新役員の承認、20年度事業計画、予算について話し合わせ承認されました。



草山議長



山本会長挨拶

山本会長のご挨拶の中で、地域防災事業を継続していくこと、青色回転灯装置車による防犯活動を壬生野地域防犯ネット、地域ぐるみ防犯ネットと連携して実施していくこと、住民の皆さんに活用のしやすい市民センター（10月20日開設予定）を目指すなどのことが話されました。

平成20年度新役員が承認されましたので紹介をします。

会 長	山本 和生	幹 事（山 畑 区 長）	米野 滋基	幹事（春日丘区長）	宮田 清孝
副 会 長	中林 正彦	幹 事（川 東 区 長）	五百田 昭徳	幹事（山岸会代表）	亀井 亮治
副 会 長	福森 晋	幹 事（川 西 区 長）	平地 章昌		
事 務 局 長	奥井 周壘	幹 事（西 之 澤 区 長）	草山 靖雄		
事 務 局 次 長	事務局次長兼務	幹 事（希 望 ヶ 丘 区 長）	樋口 正弥		
会 計	北村 節子	幹 事（川 西 青 葉 台 区 長）	岸 幸雄		

山本和生会長 20年度の抱負

平成 20 年度進発にあたって

4月26日(土)、壬生野小学校ランチルームにおいて、開催された平成20年度壬生野地域まちづくり協議会定期総会を経て、いよいよ平成20年度が進発いたしました。

平成も20回目の節目の年にあたり、わが協議会も折り目正しい対応をすることが要請されます。幸いにして、有能かつ人望高い新しい人材が執行部を構成いたしましたので、財政的には決して豊かではない予算の中、一時期、経済社会のキーワードにもなった「選択と集中」を着実に実行し、「仕事をした足跡」を残す協議会運営をしてまいりたいと思います。



平成20年度、当協議会の行う事業4つについて、若干詳述いたします。

まず第1に、10月に完成が予定される壬生野地区市民センターの活用についてであります。現在、使用している壬生の里2階の壬生野地域まちづくり協議会事務所は当然新しい地区市民センターに移転いたしますが、その活用については、旧上野市内の地区市民センターの在り方、態様を単に踏襲することなく、一工夫も二工夫もして「住民のみなさまの地区センター」にするため、積極的なご提言、ご提案を期待しています。旧盆明けくらいに締め切りを設定する予定でありますので、よろしくご協力ください。

第2に、前年度から取り組んでいる地域防災対策事業であります。遠くない将来70%~80%の確立で予測される巨大地震に備えて、平成19年度を第1年度とする地域防災対策事業は地味ではありますが、地域住民の皆さんとともに議論から実践に入ったと思考しております。今年度は安否確認・避難支援登録シートの完備、自主防災組織の活性化に重点をおいて遂行して参ります。今年も先般実施したアンケートに基づいて、三重大学川口淳先生の防災講演会を9月14日(日)14時に予定しております。

第3に、10月に予定される壬生野まつりについてであります。昨年の壬生野まつりは、従来の作品展示会、特産品販売会の性格から一步踏み出し、外国人の音楽による参加など「まつり」の要素を色濃く出してきました。伝統の上の賑やかさ、華やかさを拓げる一つの新しい試みで更に促進したいと考えています。

第4に、青色回転灯装置車による防犯パトロールを中核として、地域防犯、交通安全活動の継続強化であります。地味で確実な講習会受講者のみなさんの活動のお陰で児童・生徒の安全・安心、犯罪を未然に防ぐ防犯活動が着実に進められてきました。防犯ネットワーク会議などとともに地域ぐるみの防犯活動を更に一層浸透させて参りたいと考えております。

以上、平成20年度進発にあたって、所信を申し述べ、一年間のご協力をお願いし、併せて、地域住民の皆さんのご多幸とご健勝をお祈りしてご挨拶といたします。

防災対策実行委員会より

- ◎ 各地区の自主防災マップ（看板用）が完成しました。各地区看板の設置をお願いします。
- ◎ 昨年の12月に実施しました防災力診断アンケートの集計・考察を三重大学工学部地震対策研究室にお願いしていました。その集計と考察結果が届きましたので、その一部を原文のままお知らせします。今後の地域での自主防災対策に活用したいと考えます。

伊賀市壬生野：防災力診断アンケート結果報告書（報告書の3の項から抜粋）

3.1 項目別評価

(1) 評価方法

防災力アンケートの調査項目は表2のとおりです。全9項目を家庭・地域・その他の3分野に分け評価しました。評価点数は、項目[1]～[9]それぞれの満点に対する得点率としました。

表2 防災力診断アンケート調査項目

分野	項目
家庭	[1] ご自宅について
	[2] ご自宅の部屋の中の状況について
	[3] ご自宅での備えについて
	[4] 家族同士の話し合い・申し合わせについて
地域	[5] ご自宅のある地域の地震発生時の危険度等について
	[6] 避難場所について
	[7] 防災訓練への参加状況について
その他	[8] 学校へ通うお子さんのいるご家庭について
	[9] 自宅から通勤・通学している方について

(2) 評価結果

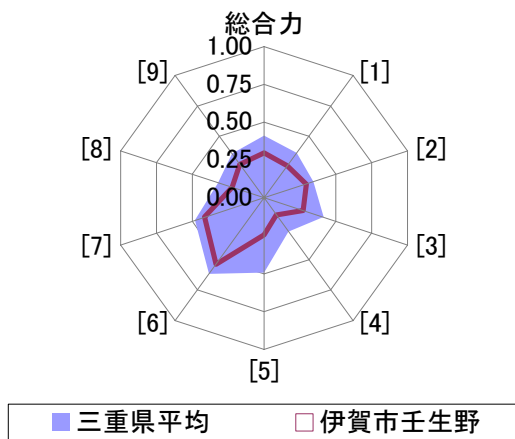


図4 項目別グラフ

図4に項目別の評価結果グラフを示します。三重県平均を面で示し、伊賀市壬生野の結果を線で示し、数字が1に近いほど防災力が高いことを意味します。

伊賀壬生野の結果は、全ての項目において三重県平均を下回っているため、総合力は三重県平均を大きく下回っています。項目毎に見ると、特に評価が低いのは、[1] [3] [4] [5] [8] の5項目です。[4]では、家族同士の話し合いがあまりできていないことが評価の低い要因です。また[5]では、災害時の情報伝達方法や、地域の危険度をよく分かっていない人がほとんどであることが評価の低い要因です。

[2] [6] [7] の項目は、三重県平均に近い値でした。この3項目を軸にして、少しずつ防災力を高めていきましょう。

また、各地区別にも考察してもらいましたので、後日各地区に報告します。さらに、考察をしていただいた三重大学川口淳准教授よりご講演を再度お願いできればと思います。

壬生野市民センター地鎮祭が行なわれる

4月22日壬生野市民センター建設業者の主催による地鎮祭が、春日神社神田宮司により執り行われました。内保副市長をはじめ市の関係者の方々、森岡議長をはじめ市議員の方々、壬生野地域まちづくり協議会山本会長、壬生野地域各区長の出席があり、市の機関、壬生野地域の活動の拠点でもあるセンターが建設されます。オープンには10月ごろの予定だそうです。まちづくり協議会の事務所もここに移されることになります。

建設地は壬生野小学校駐車場南部になります。



ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所（壬生の里 2階）へお出かけ下さい。

図書の貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどもしませんか。是非、子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご活用下さい。みなさんのご意見を聞きながら参加がしやすいように改善をしていきますのでよろしくお願いいたします。

5月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。（8：30～12：00）

3日（土）	北村 節子	三根 久美子
10日（土）	米野 滋基	福森 和子
17日（土）	五百田 昭徳	川口 浩哉
24日（土）	平地 章昌	金谷 宗清
31日（土）	草山 靖雄	高橋 大輔

編集後記

「編集後記」

36号については、20年度広報・公聴実行委員会が発足していませんので、旧広報委員長（平地章昌）と新広報委員長（奥井周壘）とで編集しました。19年度には、まちづくり協議会のそれぞれの委員会のご協力、また、地域の出来事などお知らせ頂きありがとうございました。引き続き、20年度も実行委員会のメンバーが変わりますがよろしくお願いいたします。

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会
事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL <http://www.mibuno.net>